

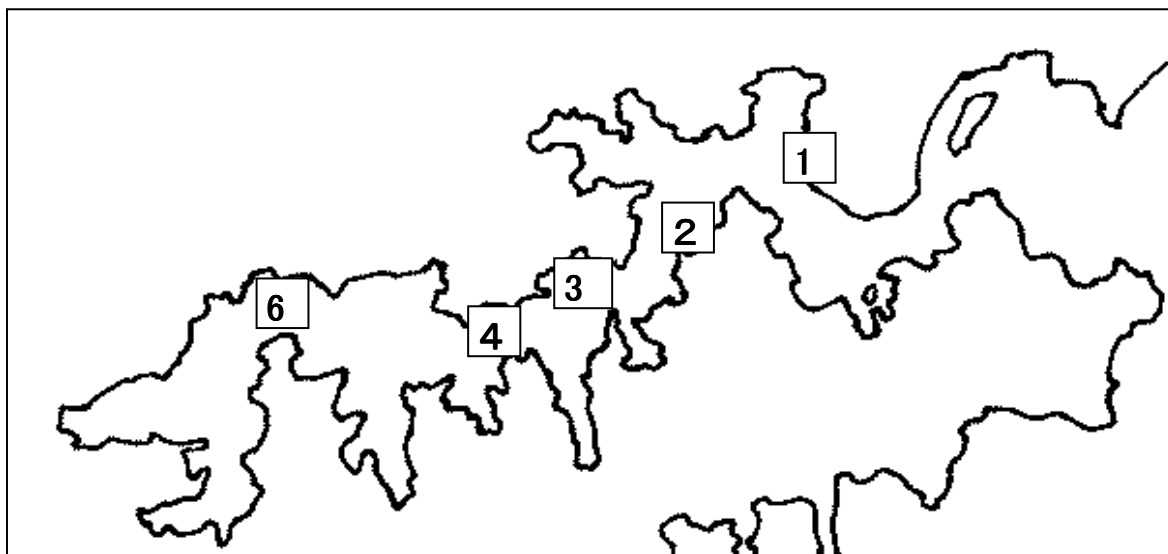
6月12日 浦ノ内湾の環境調査およびプランクトン検鏡結果

浦ノ内湾内で養殖魚の餌食いが悪いため、臨時にプランクトン調査及び環境調査を実施しましたので結果をお知らせします。

有害種では、ヘテロシグマ・アカシオが見られ、最高50 cells/ml出現しました。本種は、20,000 cells/ml程度で魚類に被害が発生することがあります。

なお、珪藻類の一種と思われるプランクトンが高密度に出現しています。湾内の海水が緑色に濁って見えるのは、本種によるものだと思います。

水産試験場で飼育しているカンパチも、6月に入ってから、餌食いが悪くなっています。湾内全域で養殖魚の餌食いが悪いようですが、原因は明らかではありません。



	観測層	水温	塩分	溶存酸素	ヘテロシグマ・アカシオ
	(m)	(°C)		(mg/l)	(cells/ml)
6 水深(m) 11.7	0	25.3	32.2	9.5	0
	2	24.7	32.4	9.8	0
	5	23.3	33.0	8.0	0
	10	22.5	33.1	3.0	
	B-1	22.2	33.2	1.9	
5 水深(m) 17.5	0	25.2	32.7	9.3	
	2	24.6	32.8	9.8	
	5	23.2	33.2	6.8	
	10	22.4	33.2	4.2	
	B-1	21.4	33.3	0.3	
3 水深(m) 16.6	0	25.1	32.8	10.1	50
	2	24.4	32.9	10.4	0
	5	23.1	33.1	5.9	0
	10	22.6	33.2	4.5	
	B-1	21.4	33.3	0.4	
2 水深(m) 16.5	0	25.1	32.8	9.0	
	2	24.0	32.9	9.1	
	5	23.3	33.1	6.7	
	10	22.3	33.2	3.4	
	B-1	21.5	33.3	0.5	
1 水深(m) 9.2	0	24.3	33.0	8.6	0
	2	23.8	33.0	7.9	0
	5	23.1	33.1	5.8	0
	B-1	22.8	33.2	4.7	